

年 月 日

循環器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「心外膜伝導が肺静脈隔離術の成功率に与える影響」 への協力をお願い

循環器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019年10月1日～2027年9月30日の間に、当科において、経皮的肺静脈隔離術（心房細動カテーテルアブレーション術）を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年11月30日

研究目的・利用方法：

本研究の目的はこれまでに当院で経皮的肺静脈隔離術（心房細動カテーテルアブレーション術）を受けられた患者さんのうち、心外膜構造物による伝導が残存した患者さんのその後の心房細動の再発率を検討します。

通常の手技で肺静脈隔離が不成功となる患者さんにおいて、心外膜伝導の関係が想定される患者さんの転帰を検討することで、肺静脈隔離術の治療戦略確立につながり、さらなる治療成功率をもたらす可能性があります。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、電子カルテより取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

一般情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、家族歴、心房細動罹患期間

血液検査：Cre(eGFR)、NT-proBNP

心電図：心拍数、調律

心エコー：左房径、左房容積、駆出率、器質的心疾患の有無

造影CT：左房容積、左心耳容積、肺静脈の形態

ホルター心電図：心拍数、心房細動の有無

術中に得られた心内心電図および3Dマッピング所見

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来

にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科・医学部/岐阜大学医学部附属病院 循環器内科学

氏名：大倉 宏之

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

電話番号：058-230-6532（医局）

氏名：栃洞 亮太

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp